

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AC334／史学講義 34 (Lectures on History 34)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	中世国家と民衆		
担当者名 (Instructor)	長崎 健吾(NAGASAKI KENGO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS3500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

- ・日本中世の都市について体系的な知識を身に着ける。
- ・中世都市の歴史を知ることの意義について自分の見解を述べられるようになる。
- ・To acquire systematic knowledge on the cities of medieval Japan.
- ・To obtain insights about significance of researching on the medieval cities.

授業の内容(Course Contents)

- ・中世という時代を通じて日本列島に出現した様々な都市はどのような特色を持っていたのか。
- ・中世の都市は古代および中世の都市とどのような関係にあるのか。
- ・歴史学において日本の中世都市がどのような観点から考察されてきたのか。
- ・Characteristics of the various cities of medieval Japan.
- ・Relationship between the medieval cities and the ancient and early modern cities in Japan.
- ・History of historical research on the medieval cities in Japan.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
都市とは何か、中世とはどのような時代か。
2. 日本中世都市研究の来歴
日本の中世都市研究の主要な潮流を概観する。
3. 平安京とその変貌
律令国家の都城として造営された平安京の特色と、その変貌の過程を学ぶ。
4. 権門都市
中世社会を特徴づける「権門」と都市の関係について、京都・鎌倉・奈良などを事例に学ぶ。
5. 中世都市の変貌
14世紀における商業・手工業の発展と都市の関係について学ぶ。
6. 都市民支配の実態
室町幕府と領主層による都市民支配の特質について、課税や警察権の問題を中心に学ぶ。
7. 比叡山延暦寺と京都
中世の代表的な寺社勢力(宗教権門)である山門延暦寺と都市京都の関係について学ぶ。
8. 都市的な場
市・宿・津など、交通や流通の結節点として発展した都市的な場の特質を学ぶ。
9. 都市と農村
中世後期における都市と都市、および都市と農村の関係について考える。
10. 寺内町
戦国期に畿内を中心に形成された一向宗(浄土真宗)寺内町の特質を学ぶ。
11. 城下町
戦国期に各地に形成された城下町の特質と、都市史上の位置づけを学ぶ。
12. 法華宗と京都
中世後期に京都の商工業者間で勢力を拡大した法華宗(日蓮宗)と都市社会の関係を学ぶ。
13. 町共同体
戦国期京都に出現する町共同体の形成過程について考える。
14. 近世都市への展望
中世都市と近世都市の関係について京都の近世都市化を事例に考える。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習については必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(80%)/リアクションペーパー(20%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 網野善彦、2013、『日本中世都市の世界』、講談社 (ISBN:978-4-06-292189-3)
2. 仁木宏、1997、『空間・公・共同体』、青木書店 (ISBN:4-250-97021-3)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

教員のこれまでの研究については下記を参照

<https://researchmap.jp/hokke1ki>

注意事項 (Notice)